

# 【戦評シート】 第 44 回秋田県クラブバスケットボール選手権大会

## 兼第 31 回東北クラブバスケットボール選手権大会秋田県予選大会

### (男子決勝)

平成 29 年 10 月 15 日 (日)	協会名： 秋田県	バスケットボール協会				
場 所：羽後町総合体育館	記入者： 佐々木忠彦					
チーム A 三種体協琴丘	84	チーム B 厚生倶楽部				
<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="font-size: 3em;">{</td> <td style="text-align: center;">                 21-18                  23-15                  23-25                  12-21                  5-13             </td> <td style="font-size: 3em;">}</td> <td style="text-align: center;">92</td> </tr> </table>			{	21-18 23-15 23-25 12-21 5-13	}	92
{	21-18 23-15 23-25 12-21 5-13	}	92			

スターター	チーム A： #0, #1, #3, #4, #9 チーム B： #2, #6, #7, #8, #9
ディフェンス (試合開始時)	チーム A： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( ) チーム B： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

男子決勝は、5連覇を狙う第1シードの琴丘と第2シードの厚生倶楽部が順当に勝ち進み、14年連続の決勝同カードとなった。

第1Q、どちらもハーフマンツーマンからスタート。お互いボールマンに厳しいプレッシャーのなか三種#4石橋の速攻に対し厚生#6渡部がオフェンスリバウンドからのゴール下で対抗する。残り5分代わって入った三種#12菊地の3Pをきっかけに流れをつかみ残り4分15-4となったところで厚生が1回目のタイムアウト。タイムアウト後三種はパスミスが目立ち、厚生は#7草皆の連続ポイントなどで追い上げ21-18で第1Q終了。

第2Q、残り6分半までノーゴールの厚生に対し三種#4石橋の速攻、#12菊地の3Pで29-18となったところで厚生が前半2回目のタイムアウト。タイムアウト明け厚生#2草薨のゴール下で得点するもすぐさま三種#1大澤のゴール下、#12菊地の3Pで突き放しにかかる。この流れを続けたい三種は残り5分ここで前半1回目のタイムアウトを取り相手ポストマンへのダブルチームでよりディフェンスをタイトにする。三種はゴール下への合わせのプレー中心に攻め、対する厚生は#7草皆の鋭いドライブやジャンプシュート、#3上村の終了間際のブザービーターで応戦し、44-33で後半へと続く。

第3Q、追いつきたい厚生は得意の速い展開に持ち込み速攻で連続ポイント。対する三種は#3佐々木の3Pや#4石橋の速攻からのバスケットカウントで得点を重ねる。残り6分、ディフェンスのプレッシャーを強めた厚生はスティールから#8吉川の速攻で51-46と追い上げを見せる。疲れの見え始めた三種に対し速い展開から#8吉川の連続3Pで残り2分半59-56の3点差となり三種がタイムアウト。タイムアウト明け三種は逆に早い展開で対抗し速攻から6連続ポイントし突き放しにかかる。終了間際、三種#4石橋のミドルシュートが決まり67-58で第3Qを終了。

第4Q、三種は#4石橋のポストプレイからのバスケットカウントで加点するが、対する厚生は#7草皆のドライブから3連続ポイントなどで残り6分半70-66の4点差まで追い上げる。残り2分半厚生#2草薨のゴール下の得点で72-72の同点となる。残り1分55秒このクォーターわずか5得点の三種はここでタイムアウト。タイムアウト明け三種#4石橋のオフェンスリバウンドからの得点で2点リード。残り1分5秒三種#12菊地が得意の3Pを沈め4点差とする。残り25秒、厚生も#8吉川が3Pを決め77-76の1点差となったところで三種が最後のタイムアウト。タイムアウト明け厚生はファウルゲームに持ち込む。残り12秒速攻から厚生#6渡部のシュートで78-78と再び同点とする。残り4秒厚生#9近江が痛恨のファウル。三種#4石橋がフリースロー1本決め79-78とする。2投めが外れリバウンドを取り、厚生#7草皆が終了間際に放った3Pに対し三種#12菊地がファウル。フリースロー1本を決め79-79の同点で終了し延長戦となる。

延長戦開始早々、厚生#9近江のジャンプシュート。対する三種は#12菊地の2本のフリースローで同点のまま。残り56秒厚生絶妙なゴール下へのパスに合わせた#2草薨のタップシュートが決まり84-89となったところで三種タイムアウト。チームファウルで得たフリースローを確実に決めた厚生が84-92で逃げ切り6年振り4回目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。